

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 自然公園の魅力や知名度が高まり、観光客が増加することによって、地域の賑わいの創出や経済活性化などに繋がっていく。

指標	指標名	薬師連山・真木溪谷・川口溪谷への入込（入山）者数						指標の種類	
	指標式	当該自然公園への入山者や周辺エリアの観光拠点への入込者数の定点計測を行っている統計データ						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			14,198	18,198	24,198			56,594
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	大仙市統計							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 08月 翌々年度 月

指標	指標名	真木真昼県立自然公園エリアへの観光入込客数						指標の種類	
	指標式	当該自然公園への入山者や周辺エリアの観光拠点への入込者数の定点計測を行っている統計データ						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			24,171	30,971	41,171			96,313
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	県観光統計							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 08月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 これまで地元自治体でもこの自然公園を誘客のための資源として積極的に活用しようという動きはなかった。本事業によって知名度アップと関係人口の拡大を図り、地域の賑わい創出を目指そうとするものである。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 登山ガイド等案内人の不足や受入態勢の不備、施設の老朽化が指摘されているなど、住民ニーズが高く、関係市町と連携しながら、それらの改善を図る必要がある。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

自然公園の活用を通じた地域の賑わい創出と関係人口の拡大を目指すため、地方創生推進交付金を活用した県、大仙市、美郷町の連携事業として計画を策定しており、両市町との連絡調整役を担いながら、事業全体の進行を牽引する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他